

<記載例>

所属コード ○●○○○
職員番号 △●△△△

令和6年分 給与所得者の基礎控除申告書 兼 給与所得者の配偶者控除等申告書 兼 年末調整に係る定額減税のための申告書 兼 所

所轄税務署長	給与の支払者の 名称（氏名）	北海道教育委員会教育長	（フリガナ） あなたの氏名	ホッカイ タロウ
札幌中 税務署長	給与の支払者の 法人番号	70000 2001 0006	あなたの住所 又は居所	北海 太郎 ①
	給与の支払者の 所在地（住所）	札幌市中央区北3条西7丁目	あなたの住所 又は居所	札幌市中央区北〇〇条西〇〇丁目〇-〇〇

フリガナをお忘れなく。

配偶者について、氏名・生年月日ほか、該当する事項は必ず記入してください。ただし、個人番号は記入しないでください。

～記載に当たってのご注意～

③「基礎控除申告書」と配偶者控除等申告書については、次の場合に所定で記載し
1 あたの本年中の合計所得金額の見損の合計所得金額の見損額が133万円以下
令和6年の給与と収入見込み額を記入して

係る定額減税（基礎控除申告書）
ません。）。
については、
ください。なお
ある場合は合
には、所得は

別添「所得額計算ファイル」や裏面の「4 合計所得金額の記載について」の記載内容を参考に計算した所得金額を記載してください。給与以外の所得がある場合の記入と、合計額の記入も忘れずに。

あなたの令和6年の給与収入合計見込み額を記入してください。

直近の給与明細等を参考にして見積もった配偶者の令和6年中の収入見積額を記載してください。(添付書類の提出のある人は添付書類の「給与収入に関する申立書」等から収入金額を算出し記入。)

別添「所得額計算ファイル」や裏面の「4 合計所得金額の記載について」の記載内容を参考に計算した所得金額を記載してください。合計額も忘れずに記入してください。0円の場合も記載してください。

あてはまる判定に☑をし、
区分Ⅱ欄に判定結果を
記載してください。

左の判定結果を記載してください。

定額減税の対象
である場合に☑を
してください。

該当する要件が、あなた自身あるいは同一生計配偶者、又は扶養親族が特別障害者である場合に記入してください。詳しくは裏面の3-2(4)を御覧ください。

配偶者控除等申告書を記入する方は、区分Ⅰ欄に(A)～(C)の判定結果を記入してください。

定額減税の対象
である場合に☒を
してください。

主たる給与の収入金額が850万円超で、適用要件を満たす方(別添説明書及び裏面を御覧ください。)のみ記入してください。

配偶者及び扶養親族が該当する場合は、生年月日、氏名ほか、該当する事項は必ず記入してください。ただし、個人番号は記入しないでください。

あてはまる
判定に☒を
してくださ
い。
基礎控除
の額を記
入してくだ
さい。

あてはまる判定に1
つ☒をしてください。

所得の種類		収入金額	所得金額
(1)	給与所得	7,000,000 円	5,200,000 円
	給与所得以外の所得の合計額	0 円	0 円
あなたの本年中の合計所得金額の見積額 (2)の合計額			5,200,000 円

金額の計算			定額減税対象	基礎控除の額
チェック	金額	区分		
☒	900万円以下	(A)	48万円	48万円
☐	900万円超 950万円以下	(B)		
☐	950万円超 1,000万円以下	(C)		
☐	1,000万円超 1,805万円以下	(D)		
☐	1,805万円超 2,400万円以下		48万円	48万円
☐	2,400万円超 2,450万円以下		32万円	32万円
☐	2,450万円超 2,500万円以下		16万円	16万円

※「区分Ⅰ」、「基礎控除の額」及び「本人定額減税対象」欄は上記の「控除額の計算」の表を参考に記載してください。

の判定に1
てください。

調整控除申告書 ◆ あなたの本年中の年末調整の対象となる給与の収入
いて所得金額調整控除の適用を受けようとする場合は、「要件」欄の該当する項目にチェック
えありません。〕。

○ ☐ 上記1.の2以上の項目に該当する場合は、いずれか1つの事項を、**扶養親族**として申告し、その申告額を調整した上での所得金額調整控除の額について申告する。ただし、この申告書に所得調整控除の額を申告する場合は、必ず「扶養親族」の欄に「扶養親族」と記載する。

○ ☐ あなた自身が特別障害者 (右の★欄のみを記載)

○ ☐ 同一生計配偶者(注)が特別障害者 (右の☆欄及び★欄を記載)

○ ☐ 扶養親族が特別障害者 (右の☆欄及び★欄を記載)

○ ☐ 扶養親族が年齢23歳未満(平14.1.2以後生) (右の★欄のみを記載)

(注)「同一生計配偶者」とは、あなたと生計を一にする配偶者(青色事業専従者として給与の支払を受ける人

◆ 給与所得者の配偶者控除等申告書 兼 年末調整に係る定額減税のための (同)

額の計算」の表の「区分Ⅰ」欄については、「基礎控除申告書」の「区分Ⅰ」欄を参照してください。
「控除申告書」の「区分Ⅰ」欄が(A)～(C)に該当し、かつ、「配偶者控除申告書」の「区分Ⅱ」欄が①～④に
5がきます。
「控除申告書」の「区分Ⅰ」欄が(A)～(D)に該当し、かつ、「配偶者控除申告書」の「区分Ⅱ」欄が①又は②
きます。ただし、その配偶者が非居住者である場合を除きます。
職者の氏名等

（フリガナ） 配偶者の氏名 ツカイ ミチコ 北海 道子	配偶者の個人番号 あなたと配偶者の住所又は居所が異なる場合の配偶者の住所又は居所
--	--

○ 配偶者の本年中の合計所得金額の見積額の計算

所得の種類	収入金額	所得金額
(1)	0 ...	800,000 ...

配偶者控除等申告書を記入する方は、区分I欄

判

48
☐ (H
《8
48
☐ 48

記入する金額は、計算結果に(A)～(C)の判定結果を記入してください。

(2)		0 円
配当 ((1))	* 800,000 円	

定 ☒ 48
☐ 95

区分Ⅱ

区 分 Ⅱ				④(上記①～③の本人等の合計所得金額の見積額)(1)と(2)の合計額			
①	②	③		95万円以下	95万円超100万円以下	100万円超115万円以下	115万円超120万円以下
A 48万円	38万円	38万円	36万円	11万円以下	11万円超16万円以下	16万円超112万円以下	112万円超120万円以下

区分 Ⅰ	B 32万円 26万円 26万円	C 16万円 12万円 12万円	D 4万円 11万円 8万円	E 7万円 6万円 4万円
摘要	配偶者控除		配偶者特別控除	
備考	主たる給与の収入金額が850万円超で、 別記1及び別記2の計算の表を参考に記 録し、かつ他の場合には配偶者特別控除			

の収入
チャック

適用要件を満たす方(別添説明書及び裏面を御覧ください。)のみ記入してください。

の該当する者について記載してください。

左記の者の個人番号	左記の者の生年月日
-----------	-----------

フリガナ) 偶者又は扶養親族の氏名		明・大・昭 平・令	年	月
	あなたと左記の者の住所又は居所が なる場合の左記の者の住所又は居所	左記の者の あなたとの続柄	左記の者の 所得金額(円)	
配偶者及び扶養親族が該当する場合、生年月日、氏名は				

配当者及び代表取締役（監事）も、申告は、主簿簿目、氏名ほか、該当する事項は必ず記入してください。ただし、個人番号は記入しないでください。

別添「所得額計算ファイル」や裏面の「4 合計所得金額の記載について」の記載内容を参考に計算した所得金額を記載してください。合計

額も忘れずに記入してください。0円の場合も記載してください。

万円以下かつ年齢70歳以上 （30.1.1以前生）	(①)	配偶	定額減	ては、
------------------------------	-----	----	-----	-----

あてはまる判定に☒をし、
区分Ⅱ欄に判定結果を
記載してください。

③

配偶者控除の額

みくださ

※判定結果を記入

左の判定結果を記載してください。

130万円以下	130万円超 133万円以下	配偶者特別控除の 38万
6万円	3万円	
4万円	2万円	
2万円	1万円	
配偶者定額減税対象		
☐		

※ (A)～(D)であり、かつ、①～④の
場合はチェック(非居住者は除く)

定額減税の対象
である場合に☑を

★特別障害者

特別障害者に該当するかどうかを判断してください。

該当する要件が、あなた自身にあるかどうかを判断してください。

るいは同一生計配偶者、又は扶養親族が特別障害者である場合に記入してください。詳しくは裏面の3-2(4)を御覧ください。